若者の社会変革を応援するソーシャルメディア

alterna×S

vol.2
May.2011

仕事も恋も
は「エシカル」

目次タイトルをクリックすると、
該当ページに飛ぶことが出来ます

May.
2011
vol.2

03 オルタナ S への参加方法

04 仕事も恋も鍵は「エシカル」

エイズ孤児を私たちが救いたい　NGO PLAS 代表　門田瑠衣子

100 年先まで考える「林ガール」　林業女子会＠京都 代表　岩井有加

06 ミスキャン 10 人で
明るい社会変革を

ミスキャン社会貢献団体「Sweet Smile」創設者
山崎ひな子

08 社会貢献と企業経営を志す
１８歳のカリスマモデル

慶応大 1 年　雑誌 Ranzuki モデル
鎌田安里紗

10 エシカレといく　理想のデートプラン 1day

12 Sweet Smile 本
「ミスキャンパス Presents 世界を変える仕事 44」

13 オルタナ "S"cool（エスクール）第 3 回開催レポート
映画「幸せの経済学」上映会 & ワールドカフェ

いまだからこそ考える
自分の「幸せ」って
何だろう

14 2011.3.11　東日本大震災　若者たちのいま
僕らも目覚め、
動き始めた

16 編集後記 & 次号予告

オルタナ S について

「オルタナ S」は若者による社会変革を応援するソーシャルメディアです。Web サイトと月に一度配信するデジタルフリーマガジンから構成され、全国の学生や若者を対象にソーシャル（社会的）、エシカル（倫理的）、エコ（環境）をテーマとした情報を発信します。無料のユーザー登録をすることでオルタナ S サイトへの投稿やデジタルフリーマガジン「オルタナ S」の閲覧ができ、オルタナ S へ参加できます。ユーザーの参加によってオルタナ S は作られます。

ソーシャルメディアの即時性と双方向性を生かし、ユーザーがソーシャルな人や団体、企業とつながるプラットフォームです。

alterna　Delphys

オルタナＳへの参加方法

1 オルタナＳサイト上での同世代エシカルピープルとの交流

オルタナＳサイトでは記事の更新とともに、ソーシャル系の学生団体や NPO、ユーザー同士の交流スペースを設けます。「何かいいことをしたいんだけどどうすればいいの？」そんなあなたに新しい”つながり”を提供します！

2 オルタナ”S”cool（オルタナエスクール）への優先参加

オルタナＳではオフラインの場でのイベント、オルタナ”S”cool（エスクール）を開催します。エシカル・ソーシャルな方々とのダイアログカフェ、映画上映会や、エコツアーなどを企画し、参加者の”アンテナ”を広げます！

3 オルタナＳ編集部への取材依頼や、記者として編集部の一員に！

オルタナＳはユーザーとともに作っていくメディアです。ユーザーのみなさんが取材してほしい話題や人をお知らせください。「記事を書きたい！」というライター志望の方は編集員になれるチャンスもあります！希望者は info@alternas.jp まで。

4 オルタナＳ編集部からのメールマガジンでソーシャルな情報を GET

オルタナＳではメールマガジンを月 2 回配信します。ユーザー参加企画の情報やパートナーの団体からの情報などを中心にお届けします。もちろん、ユーザーのみなさんからの情報も受け付けています！

5 各種 SNS を通じてリアルタイムに編集部からの情報を発信！

編集部ではサイトの他に twitter、Facebook、mixi を通じて情報を発信します！ twitter では記事の更新情報や編集委員のつぶやきを随時発信。Facebook や mixi ではユーザーとのディスカッションを展開します。ぜひチェックしてみてくださいね！

オルタナＳの各種 SNS はこちらから！ ›››

特集

仕事も恋も は「エシカル」

最近「エシカル」という言葉が広がりつつある。エシカルとは「倫理的な」という意味の英語だが、環境や社会に配慮するという考え方だ。例えば、フェアトレード（公正な取引）を通じて生産者と適正な価格で取引をし、生活を保障することもエシカルだ。日常生活でも「電車で席を譲る」など、良心的なふるまい、行動をすることもエシカルだ。このような考え方を持つ女性を「エシカノ」という。そんなエシカルな彼女（She）たちを紹介しよう。

エイズ孤児を私たちが救いたい

NGO PLAS 代表・門田瑠衣子さん

「エイズ孤児」という存在を知っているだろうか。エイズ孤児とは、エイズで両親を亡くした子供のことだ。必ずしもHIV に感染していないが差別や偏見によって引き取ってもらえなかったり学校に通えなかったりと、様々な問題が生じている。そんな子供たちを支援している PLAS は、門田瑠衣子さんが大学院生のときに立ち上げた NGO だ。

門田さんは大学 2 年生のときに『バナナと日本人』を読んで、日本人が食べるもののほとんどが輸入品であることを知り、初めて自分と世界がつながっていることを意識した。「自分に無関係なものは何もない。私の生活を支えてくれている誰かのために、私も何かしなきゃ」という思いから、国際協力の仕事を志した。

そのための勉強をするべく大学院へ進学した年、アフリカへ渡り、初めて HIV 患者やエイズ孤児に出会った。帰国後に参加した「エイズとエイズ孤児について語る会」で会った 6 人の仲間とともに、2005 年 12 月、エイズ孤児を現地で支援するため PLAS を設立した。

最初の活動はウガンダでの小学校建設だ。事業コーディネーターを任された門田さんは多くの難題に追われ、自分がやりたかった国際協力とちがう！こんなんでやっていけるのか？と苦しんだ。しかし報告会で初めて現地で活動している自分の写真を見ると、どれも笑顔で写っていたことに気づき、辛かったけどこれがやりたい仕事なんだと確信した。

こうした経験を振り返って、失敗を恐れずにチャレンジすることが大切だと門田さんは言う。「○○ができるようになったらチャレンジしよう、勉強してからチャレンジしようと、ためらったり時期を待ったりするのではなく、今の自分にできる最大限のチャレンジを積み重ねてください。そうすることで、思った以上に成長できたり、大切なモノや人に出会えたりするのではないかと思います」。（編集員　木村絵里）

100 年先まで考える「林ガール」

林業女子会＠京都 代表・岩井有加さん

「山ガールや森ガールがいるなら、林（りん）ガールもいてもいいんじゃないかな」そんな発想のもとに生まれたのが林業女子会だ。主に京都の学生や社会人など 20 代の女の子たちが所属している。代表を務めるのは岩井有加さん (23)。小学生のときから環境問題に関心があったという岩井さんは現在、京都大学大学院で森林科学について学んでいる。

もっと林業について知ってほしい、でもただのブームにはしたくないという思いから、山を身近に感じるきっかけを作る場として林業女子会を立ち上げた。そして集まった 30 ～ 40 人の仲間とともにフリーペーパーの発行や、「森の女子会」という林業体験ができるワークショップを開催している。

現場で活躍している人だけではなく、木製の雑貨を愛する人も立派な“林業女子”だが、こうした活動を通して「自然のサイクルのように 100 年先まで考えられる女子を育てたい」と岩井さんは夢を膨らます。その一歩となるヒントとして、素敵なメッセージを送ってくれた。

「学生は学生だけで集まりやすいけれど、外に出て、外とのつながりを持つことで広がりを持てると思います」学生よ、大志を抱いて外に出よ！（編集員　木村絵里）

Ethi-kano

No.1

山崎ひな子 (23)

1987年生まれ。Sweet Smile創設者 NHK和歌山放送局キャスター（スタッフ）埼玉県出身。2011年法政大学現代福祉学部卒業

ミスキャン10人で明るい社会変革を

ミスキャンパスらによる社会貢献を行う任意団体「Sweet Smile」を通じて、企業とのチャリティプロジェクトやイベントを立ち上げた山崎ひな子さん（23）。彼女がミスコンにでたのは、世界の格差問題について多くの人に伝えるためだった。社会人になった今、彼女が後輩たちに伝えたい想いとは――。

伝えることの難しさを痛感し、ミスコン出場へ

2008年、山崎さんはミス法政大学に輝いた。ミスコンテストに出たのは、世界の格差問題について多くの人に知ってもらいたいという想いがあったからだった。

「Sweet Smile（スウィートスマイル）を立ち上げる前は、フェアトレードを行うNGOわかちあいプロジェクトに入っていたのですが、そこで『伝えること』の難しさを痛感しました。情報社会といわれる現代、私たちは多くの情報に囲まれ生活していますが、世界の現状など、本当に大切なことは、見えにくい環境でもあると思います。そこで、見えにくいけど大切なことを、わかりやすいものを活用して伝えたいと思い、ミスコンに出場しました。」

その後、他大学のミスキャンパスメンバーを集め、任意団体「Sweet Smile」を2009年に立ち上げた。現在までの活動として、Table

forTwo、スリーエフとコラボレーションした寄付付き弁当のプロデュース、チャリティイベントなどを行っている。

「世界で違うところに生まれただけで、人生の始めから苦しい境遇に立たなければならない人たちがいます。そのような世界の中にある格差に疑問を持っていました。生まれた場所が違うだけで、食べ物がなかったり、学校に通えない子がいたり…。そういう状況はおかしいのに、それが当たり前になりつつあるのが怖いと感じていました」

こうした状況を当たり前にしたくないという想いで、Sweet Smileを立ち上げたのだという。

NPOの取材を通じて、日本社会の問題が見えた

そして、Sweet Smileから本「ミスキャンパス presents 世界を変える仕事44」（ディスカヴァー・トゥエンティワン）が発売された。これは、メンバーが選んだNPOやNGOを取材し、活動を紹介した上で、就活を控えた学生や若者に新しい選択肢を提示している。

「何から始めたらいいかわからないと言う人に向けて、ぱっと見てわかるガイドブックができたらいいなということでこの本を作りました。この本を通じて、仕事や生き方の選択肢を広げていただきたいです」

取材をしていく中で、日本の社会が抱える問題が見えてきたという。

「今回取材した団体は東京に事務所を構えている団体ばかりですが、取材を通じて東京にある社会問題が見えてきたように思います。それは、東京では人の絆が失われている、ということです」

「例えば、フローレンスは病児保育を行う団体です。子どもが熱を出すと通常、保育園では預かってくれません。しかし、親御さんは仕事に行かなければならない。そういった時に子どもを預かってくれるのですが、昔なら、近所のおばさんや同居しているおばあちゃんが預かってくれたりしたと思うのです。だけど、今はそういった人のつながりが希薄になっているため、このような問題が起こり、そこを補う存在としてNPOがあるのだと感じました」

行動につながるきっかけを提供したい

4月からはNHK和歌山放送局で、キャスターとして働いている。メディアに携わる者としてこの経験をどう生かすのだろうか。

「国際協力にずっと興味があったのですが、そもそもこの格差は私たち（いわゆる先進国）がつくりだしたものであって、私たちが抱えている心の貧困こそ問題なのではないかと思い始めました。今までの学びから『つながり』をつくるお手伝いがしたいと強く思うようになったのです。私がつなげたい対象は、大きく分けて2つです。ひとつに、人と人。そして、人と社会をつなげたいと思っています」

「私が社会活動にかかわるきっかけがテレビでした。ニュースでホームレスに炊き出しを行っている、セカンドハーベストジャパンというNPOを知りました。その日すぐに連絡をして、次の日にボランティアへ行きました。それは、テレビの中の世界、つまり社会問題が、自分の身近で起きていることであり、問題に対して自分は当事者であることに気がついた瞬間でした」

この日を境に、メディアで取り上げられる社会問題に対して、「自分は何ができるのだろうか」と常に考えるようになったという。メディアの力の大きさを実感した。

「この経験から、自分もそういったきっかけを提供したいと考えるようになりました。ただ伝えるのではなく、伝えたあと、つながりを感じてもらえるような伝え方をしたいです。地方局だからこそできることもたくさんあると思っています。『嬉しいことも悲しいこともみんなで分かち合いたい。』日々そう思い、努めています」

頭で考えないで、心で感じて動く

山崎さんに今、学生に伝えたいことを聞いた。

「ぜひ、頭で考えないで、心で感じて動いてほしいです。例えば、就活は自己分析を行うなど、頭で考えてやるものだと教わります」

「しかし、それがすべてではないと思うのです。日本の狭い就活の常識にとらわれなくてもいいと思います。みんながやっているから自分もやらなきゃ、と考えるのは分かりますが、もっと今自分がやりたいことを素直に行動に移してみてもよいのではないでしょうか。その先に自分が本当にやりたい仕事が見えるのだと思います。皆が持っている自分の心、良心に、素直に行動することができたら、皆が心地よく暮らすことができると信じています」

（編集長　猪鹿倉　陽子）

Ethi-kano

No.2

鎌田安里紗 (18)

1992年生まれ。徳島県出身。雑誌Ranzukiモデル。2011年慶応義塾大学総合政策学部に入学。フェアトレード、国際協力に関心をもち、2011年2月にエシカルファッションショー「ハピ☆コレ」にモデルとして参加。

社会貢献と企業経営を志す18歳のカリスマモデル

渋谷系ギャルに人気の雑誌Ranzukiモデルの鎌田安里紗さん。もともと国際協力や社会貢献について興味があり、今年2月にはフェアトレードファッションショーに参加。大学生になった今、彼女がやりたいこととは――。

普段着ている服が児童労働とつながるかも

鎌田さんは高校2年の時にアフリカに学校を建てるボランティアの募集に応募したことがきっかけで、フェアトレードと出会った。フェアトレードとは、児童労働の禁止や適正な賃金の保障といった「公正な取引」を意味する。

「自分がやるならモデルやファッションとリンクした活動の方がいいと思い、調べていくうちに、フェアトレードを知りました。まわりの友達にも話すと興味を

持ってくれます。単にこういった問題について知るきっかけがないだけなのだと思います」

鎌田さんのブログには1日20万のアクセスがあり、フェアトレードについて紹介すると、大きな反響があったという。

「ファンの方から『フェアトレードについて勉強し始めました』など10人くらいから手紙がきました。多分、洋服という自分にとって身近な物が児童労働などの問題につながっているかもしれない、ということに衝撃を受けたのだと思います」

しかし、一方で自分の中でジレンマも感じているという。

「フェアトレードのファッションショーに出ていながらも、普段はやはり安い服を買ってしまいます。もしかしたら児童労働ともつながっているかもしれない、というジレンマがあります」

keyword

フェアトレード

フェアトレードとは、直訳すると「公正な取引」。貿易において、生産者に対して適正な価格で取引を行い、生活を保障することを目的とする。主な品目としてはコーヒーやバナナ、チョコレートなどがある。

東日本大震災後には募金活動や被災地支援を

東日本大震災後は読者モデル20人で、渋谷で街頭募金を呼びかけた。

「読者モデルのファンの子たちが来てくれ、4時間で約25万円が集まりました。また、学生と社会人の復興支援団体ガクツナの方と一緒に石巻市と南三陸町へ行ってボランティアをしてきました。炊き出しと、子どもたちの遊び相手をしてきました」

「だけど、被災した人たちの感情はまだまだ不安定だと感じました。いっしょにいた現地の高校生が突然『津波でおばあちゃんが流されちゃったんだよね。』と笑顔で話し出し、驚きました。感情を抑えて話していると感じました」

社会貢献と企業経営両立のための勉強を

鎌田さんは今年4月に慶応義塾大学総合政策学部に入学した。これからどのような学生生活を送りたいと思っているのだろうか。

「今、関心があるのは社会貢献と企業経営の両立についてです。やはり、経営も成り立たないと社会貢献は続かないと思うのです。将来的には、社会貢献と経営を両立できるような会社を興したいですね。今はファッションの分野を考えていますが、まずは大学で経済や国際関係の問題、コミュニケーション技法などについて学び、視野を広げていきたいです」

（編集長　猪鹿倉 陽子）

鎌田さんのブログを見る

エシカレといく 1day 理想のデートプラン

エシカノとは人や環境、社会に配慮した行動をする彼女のこと。困っている人には手を差し伸べる。安さや見た目の可愛さだけには惑わされない。オーガニックな食べ物や、フェアトレードの雑貨を選ぶ。そんな理想のデートプランを探しに行こう！

am 9:00

メイクはBODY SHOPのコスメ！ヘアゴムも忘れずに

（上）THE BODY SHOP
○リキッドリップカラー　ペールピンク
フェアトレード原料を使ったグロスタイプのリップカラー。カカオ脂やヤシ油が乾燥しがちな唇を守ります。パッションフルーツの香りで気分もすっきり。1本 7.5ml　1,575 円

（下）Sense of Life（ヘアアクセサリー）
使われなくなった古着や生地を活用して作られたヘアアクセサリー。「リデュース（ごみの削減）を推進する」をコンセプトに作られた「re:du（リデュ）」のエコ商品。Sense of Life たまプラーザテラス店で購入。

am 11:30

電車に乗ると、大きな荷物を抱えたおばあさんが乗ってきた。快く席を譲る彼

「ひとにやさしく」
エシカノは人にも優しい。目の前に困っている人がいれば、迷わず手を貸す。様々な技術発展が進む中で、人と人とのつながりが希薄になっている。都会ですれ違う人々は名前も職業も知らないが、確かに同じ時を過ごしている仲間だ。同じ地球に生きる人間として、思いやりをもった行動をする。これからの社会に益々求められる行動である。

pm 0:00

オーガニックレストランで食事 ―シンシアガーデンカフェ

シンシアガーデンカフェ
「自然を感じられる場所」をコンセプトに、スパ、オーガニック＆ナチュラルコスメのショップ、カフェがひとつになったシンシアガーデン。シンシアガーデンカフェの旬の野菜を中心にした季節のメニューは旬野菜や大豆を使っていて、体の中から健康になれそう。店内は穏やかな時間が流れていました。

pm 2:00

サステナブルなH&Mでお買いもの

H&M はエシカルファッションブランド
H&M はオーガニックコットンの使用量を 2013 年まで毎年 50%ずつ増加する目標を掲げている。東日本大震災復興支援プロジェクト「H&M♥JAPAN」の一環でオーガニックコットンのシャツなどが販売される。販売価格の 50%が災害復興支援の義援金として寄付される。 6月2日より発売開始　3,490 円（税込）

pm 3:00

野菜スイーツ専門店 パティスリー ポタジエで一息

パティスリー ポタジエ
世界初の野菜スイーツ専門店。「安全で、おいしくて、からだにもやさしいスイーツ」をコンセプトに、有機栽培や自然農法で作られた国産野菜を使用したスイーツを提供している。一番の人気商品は、グリーンショートトマト。コマツナ入りのグリーンのスポンジにトマトが挟まれている。480 円（税込）

pm 4:00

彼からサプライズ！ プレゼントはエシカルジュエリー

HASUNA Belize Placencia ネックレス（グリーン）
中米にある国・ベリーズで採れた黒珊瑚を使用したキラキラネックレス。HASUNA では、この黒珊瑚を適正価格で買い取り、パーツとして使用することで、職人の制作活動の維持に協力をしている。16,800 円（税込）

pm 7:00

オルタナ"S"cooL 「幸せの経済学」上映会へ

映画『幸せの経済学』上映会＆ワールドカフェ
本当の幸せってなんだろう？を考えさせてくれるドキュメンタリー映画。
上映会のあとには、みんなで話し合うワールドカフェが開かれて盛り上がりました。
いろんな人の意見を聞けてよかった！

pm 10:00

アロマをたきながら 紅茶を飲んでほっと一息

（上）ワイルドツリー ミツロウキャンドル
手作業で集められたミツロウと、良質のマカデミアンナッツオイル、ホホバオイルだけでつくられたキャンドル。オーストラリア原産。石油化合物不使用のため、毒性はゼロ。夕日のような温かいオレンジ色の光は 1 日の疲れを癒す。ティーライト 3 個入 756 円（税込）

（下）Mitra Tea オーガニックアップルティー ティーバッグ
農薬、化学肥料に頼らず丹念に作られた有機栽培紅茶と天然のりんご成分を原材料としたアップルティー。スリランカ原産。フェアトレードで、環境にも人にも配慮された一品。20 袋入りパックを 10 名様にプレゼント。650 円（税込）

読者プレゼント

オーガニック アップルティー

1箱（20袋入り）

10 名様

>>> プレゼントに応募する！

今日もエシカルな1日だった！
明日もエシカルな1日になりますように。
おやすみなさい

オルタナ "S"cool（エスクール）
第 3 回 開 催 レ ポ ー ト

※オルタナ "S"cool とは、
オルタナ S 編集部が主催するイベントの総称です。

いまだからこそ考える 自分の「幸せ」って 何だろう

2011 年 5 月 22 日、ドキュメンタリー映画「幸せの経済学」が全国 113 カ所で一斉上映された。オルタナ S も渋谷区文化総合センター大和田（東京・渋谷）で上映会を開催し、学生や社会人など約 80 名が参加した。上映後はワールドカフェ形式で映画の感想を共有し、ファシリテーターの 2 つの問いかけについて皆で意見を出し合った。

「本当の豊かさ」とは何か

私たちが直面している環境危機、経済危機、そして消費社会にさらされた「人間の心の危機」――。監督の一人で経済学者のヘレナ・ノーバーク・ホッジさん（65）は、地球の危機を救うには、インド北部ヒマラヤ近くのラダックがヒントになると考えている。

1974 年に外国人立ち入り禁止制限が解除される以前は、ラダックの暮らしは伝統文化と共にあり、その土地に根差したものだった。西欧文化が流れ込み、消費社会にさらされたことで、ラダックの人々は自分たちの文化を時代遅れで貧しいと考えるようになった。急速な近代化の波にのまれ、自然との関わりや人との繋がりが希薄になり、彼らのアイデンティティや伝統的な暮らしも息をひそめていったという。

「本当の豊かさとは何か」。グローバリゼーションが引き起こす諸問題には、ラダックが育んでいた「ローカリゼーション」が解決の糸口となる。ヘレナ・ノーバーク＝ホッジさんは、人や自然との繋がりや地域社会の結びつきを強めること、肥大化した経済活動を縮小し、地域レベルに落とし込むことが必要だと語った。

ワールドカフェで「自分」を話す

上映後、参加者は 1 グループ 4 ～ 5 人の 10 グループに分かれて、ワールドカフェを行った。自己紹介と東日本大震災発生時に何をしていたかを各々が話した後に、ファシリテーターの 2 つの問いに答えた。積極的に話す参加者が多く、リラックスした雰囲気で自由に意見を言い合うことができた。

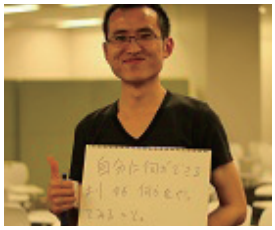
ワールドカフェとは？

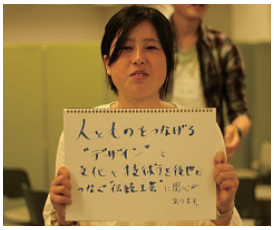
別名「決めない会議」。何かを決定するよりも、様々な事象や考え方を共有し、相互理解を生み出すグループトーク。相手の話を否定しないこと、話をさえぎらないことがルール。

Q. あなたにとって「幸せ」とは何ですか？

「支えてくれる人がいること」（学生・女性）
「繋がりがあるということ」（学生・女性）
「幸せを定義付けていなかった」（社会人・女性）
「幸せは、お金のあるなし、仕事のあるなしとは関係しないと思う」（社会人・男性） etc...

Q. あなたにとって「働く」とは何ですか？

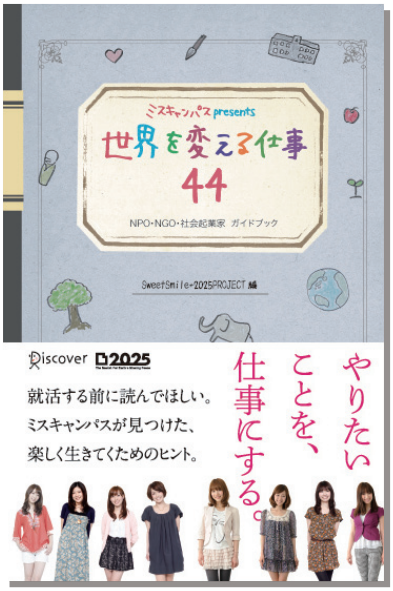




社会人や学生など、立場や背景の違う人たちが同じテーマについて語り合うワールドカフェ。就職活動を控えた大学 3 年生、働きはじめの社会人、会社員から自営業へ移行した人。多くの人の話を聞いて、新しい出会いがこんなに視野を広げてくれるのかと驚いた。オルタナ S で出会えることに感謝。次回 "S"cool もご期待ください。（編集員　高橋とよみ）

就活する前に読んでほしい

Sweet Smile「ミスキャンパス Presents 世界を変える仕事 44」



山崎ひな子さんが創設したミスキャンパスによる社会貢献団体 Sweet Smile が学生に向けて「ミスキャンパス Presents 世界を変える仕事 44」を出版！この本は、Sweet Smile のメンバーが NPO、NGO、社会企業家の方々を訪ね、活動紹介を行うとともに、新しい選択肢を提案している。取材したメンバー自身も、素晴らしい活動を知り、感動するとともに読者とこの幸福感をシェアしたいとのこと。「これからどんな大学生活を送ろう？」「毎日がつまんない」「就活どうしよう」と迷えるあなたにぜひ読んでほしい一冊。

Q. 印象に残った団体は？

A.

08' ミス
法政大学

山崎ひな子さん ⇒ 日本ソーラークッキング協会

印象に残った取材先は日本ソーラークッキング協会（神奈川県綾瀬市）です。おばあちゃんが 1 人でやっている NPO なのですが、代表の鳥居ヤス子さんは学校でソーラークッキングについて教えたり、イベントに出展しています。ソーラークッカーを使うと、燃料を使わずに太陽の力だけで、調理ができます。燃料を手にいれることが難しい途上国や被災地でも使えるので可能性を感じました。

08' ミス
法政大学

刀祢有里奈さん ⇒ シェア＝国際保健協力市民の会

いろんな団体に行ってみて、いい意味でイメージを裏切られました。NPO や NGO は「お金を寄付して、援助している」というイメージが強かったのですが、現地の生活で必要なことを教え、団体の方は手伝いにきているという感覚で活動されているように感じました。シェア＝国際保健協力市民の会（東京都台東区）の方が「魚をあげるのではく、釣り方を教える姿勢で活動している」とおっしゃっていたのが心に残っています。

08' 準ミス
学習院大学

須藤真里奈さん ⇒ JHP・学校をつくる会

JHP・学校をつくる会（東京都港区）の代表小山内美江子さんがすごくエネルギッシュでした。小山内さんは「60 歳からが自分の人生」と思って、カンボジアに行って学校を作っているとのこと。活動を通していろんな国の人とつながり、自分の人生が輝いている、とおっしゃっていたのが印象的でした。他の団体の方も、自分の人生を輝かせるためにやっている方が多くて、自己実現している人が多いと感じました。

僕らも目覚め、動き始めた

2011.03.11

東日本大震災
若者たちのいま

東日本大震災発生から２ケ月あまり。オルタナＳでは、創刊号から若者たちの支援を追っている。発生直後の緊急支援から、より細かいニーズに即した支援が広がりつつある。3.11 を若者たちはどうとらえ、動いているのか。「何か被災地に対してやりたい」と思っている人は必見だ。

Twitter でつながった思い 温泉宿をボランティアに無償提供

オルタナＳ　編集部員

殿塚　建吾

とのづかけんご

1984 年生 / 千葉県松戸市出身 / 古民家鑑定士 / 不動産会社、環境 CSR の企画会社を経て現在フリーで活動中。多様な職と農的な生活ができる人を 21 世紀百姓と勝手に呼び、それを目指している。自給自足の笑える街づくりが当面の夢！

▶ 関連記事を見る

宮城県亘理町ではボランティア参加者に温泉宿を提供する”という動きが始まっている。キーマンは松島宏佑さん（24）。宮城県白石市出身の彼は、震災を受けて白石に戻り、隣町である亘理町にてボランティア参加者のための宿を確保した。

最初に宿を提供したのは宮城県遠刈田温泉にある「温泉山荘だいこんの花」支配人、渡辺千尋さん。震災の影響による休業期間のうち、4 月 8 日～ 20 日まで無償でボランティアに宿を提供。述べ 64 人、宿泊数にして 186 泊の受け入れをした。震災後「地域の役に立ちたい」というキモチを抱いていた二人をつなげたのは Twitter。松島さんの知人を渡辺さんがフォローしていたことがきっかけとなった。松島さんは「来て下さった方々に亘理のファンになってもらい、まちづくりにつなげたい」とその想いを語る。

現在は「ふらっとーほく」とプロジェクトを命名し、協力宿を更新して活動を継続。みなさんもふらっと東北にボランティアなんていかが？

被災した北里大学生ら、大船渡市で「こども祭り」開催

オルタナＳ　編集部員

清本　周平

きよもとしゅうへい

高校卒業後３年間の社会人生活を経て 2010 年大学へ進学。現在 22 才の大学二年生。社会の隠れたつながりを求めて色々なところへ出没したいと思っています。モットーは「人生辛い時は上り坂。楽なときは下り坂。」

▶ 関連記事を見る

５月３日に岩手県大船渡市越喜来で学生ボランティア団体 ECOKKUS（エコックス）主催の「こども祭り」が行われた。当日は小学生から高校生までの 20 人以上の子供たちが集まり、バーベキューや稚魚の放流などを楽しんだ。ECOKKUS は、北里大学海洋生命科学部の学生らが中心となって、普段はフリースクールやキャンプなどを行っている学生団体。

今回の震災で被災したため、海洋生命科学部は神奈川県相模原市にキャンパスを移転したが、毎年恒例のこども祭りを今年も実施するため、有志が大船渡に戻ってきた。

ECOKKUS 元代表で被災活動支援隊隊長の釼持飛翔（けんもちつばさ）さんは「子供たちにも相当のストレスがたまっているだろうし、こういう時だからこそ開催したかった」と振り返る。ECOKKUS は夏にも地元と協力して花火大会を企画している。また NPO としての登録も視野に入れ、これからも被災地支援に全力を注ぐ。決して規模の大きな団体ではないが彼らのような存在を私たちは決して忘れてはいけない。

浜岡原発停止を叫び続けた ICU1 年女子大生リーダーの今

オルタナ S 副編集長

高橋　遼
たかはしりょう

オルタナ S 副編集長。いわゆる佑ちゃん世代です。地元の活性化を目的に、映画プロジェクト『まちるむ』を企画。オルタナ S では、若い世代のアクションを応援し、追っていきたいと思います。

▶ 関連記事を見る

菅首相が浜岡原発の全面停止を中電に要請し、5 月 14 日に全面停止が実現した。現在、ICU（国際基督教大学）1 年の関口詩織さんは、2011 年 3 月 11 日の東日本大震災の発生からすぐ、女子高校生有志で「脱原発×STOP 浜岡」を立ち上げ、中電への署名収集活動や名古屋で 450 名規模の脱原発パレードの先頭に立ってきた。

菅首相の発言当日の電話取材で、「たとえ浜岡原発が止まっても、『脱原発』をもっと広めていかなくてはいけません。」と話していた彼女は今、ICU を拠点に友人 5 名でシンポジウムや映画上映などの活動を新たに立ち上げている。理由はただひとつ、「もっと同世代に関心を持ってほしい」ということだ。

浜岡原発停止を叫んだ彼女の思いは実現したが、日本には未だ動き続ける多くの原発がある。彼女の踏み出した新たな一歩に、私たち若い世代は何を感じ取りどう動くのか。一人ひとりのアクションが今求められている。

学生による復興支援組織 SET が支援報告会「若者フォーラム」を開催

オルタナ S 編集長

猪鹿倉　陽子
いがくらようこ

オルタナ S 編集長。大学卒業後、環境コンサルティング会社に勤務し、「楽しい」から入る人の意識や行動の変化を目にする。自ら気付き、行動することの大切さを実感。オルタナ S では、入口は低く、中身は深い情報発信を目指します。

▶ 関連記事を見る

5 月 13 日、学生による東日本大震災復興支援組織 SET（Student Emergency Taskforce）が「若者フォーラム」を開催した。被災地に対する支援の報告とともに、被災地入りした学生らによるパネルトーク、ワークショップが行われた。学生を中心に 77 名が参加し、会場は熱気に包まれた。SET は 3 月 13 日に学生有志らが集まって立ち上げた東日本大震災の復興支援組織。支援先の岩手県陸前高田市広田町は人口 4000 名のうち、死亡者が 39 名、行方不明者 22 名、避難者は 500 名の地区だ。現在、ガス・電気はほぼ復旧しているが水道の復旧の目処はたっていないという。

SET は設立当初、認定 NPO 法人難民を助ける会（東京都品川区）を通じて物資支援のサポートを行っており、約 1000 箱を宮城へ送った。現在では、広田町の防災本部と連携し、津波の被害状況の地図や復興記録の作成、子供たちの勉強の指導などを行っており、活動が広がっている。

今後は、広田町との連携を強めるとともに、同じ志をもつ他団体や個人とも連携していく。

アートで日本を励まそう！

東日本大震災の翌日、一人の美大生が twitter 上でこう呼びかけた。
「美大の皆さん、私たちに出来ることがあるとしたら、絵を描いて励ますことかなって思いました。こんなことしか出来ないけど、ちょっとでも励ませるように。賛成のみんなは素敵な絵をツイートしてください！！」…

▶ もっと読む

石巻ボランティアレポート

どうしても被災地に行きたい。3 月 11 日からずっと思い続けていたことだった。仕事中に都内のビルで大きな揺れを体感した。電車が動かず、3 時間かけて歩いて帰宅した。…

▶ もっと読む

エシカノは特別な存在ではありません。「何かいいことをしたい」そんな気持ちは誰でも持っているものではないでしょうか。
固く考えなくても、良心を持って行動すれば、エシカノ、エシカレ（He）です。これからもカッコいい・かわいいエシカレやエシカノを取り上げていきます。

編集長　猪鹿倉陽子

エシカルっていう言葉は実はこんなに多くのことに使えるんですねー。なかなかエシカノなんてすぐには見つからないけれど、そこが一つの魅力なのかも知れません。いやぁ、エシカノっていいものですねー。

副編集長　高橋遼

自分が紹介したい人や出来事を記事にする機会を頂けて嬉しいです！そして紹介したくなるような人にもたくさん出会えて、いつもワクワクしてます。これからも楽しみながら記事を書いていこうと思います！

編集員　殿塚建吾

１ヶ月ぶりに実家に帰った時、これ面白いよと母親が勧めてくれたのは、とある情報誌の「エシカルな暮らしをしよう」という記事。言葉なくとも親娘だと感じました。今度帰る時にはオルタナＳを勧めるつもりです

編集員　原彩子

編集部員の中でエコとは最も遠い世界からやってきました。エコってどんなものだろうと片足突っ込んだら沼地に引きこまれた、そんな心持ちです。ど素人の視点を少しだけずらした取材をしていきます！どうぞお見知りおきを。

編集員　清本　周平

普段の生活でエコやエシカルな部分を探しながらの執筆でした。「幸せな経済学」からの学びを少しでも日々の生活に取り入れられたら、エシカノへの道も近い！？

編集員　高橋とよみ

２号で取材したエシカノさんは、二人とも自分の分野できらりと輝いていてとても素敵でした。今後もたくさんのエシカレ・エシカノについて発信していきたいなと思います。

編集員　木村絵里

次号特集

ぶっちゃけ知らないエネルギーのこと

新しいエネルギーって何があるの？

あのキャラクターも原子力で動いていた!?

今年の夏は〝夏ボラ〟しよう！

（夏休みボランティア）

タイトル・内容は予告なしに変更することがあります。

alterna S vol. 2

株式会社　オルタナ

〒150-0001
東京都渋谷区神宮前 5-12-7
ワイス・ワイスビル　B1F

publisher	森　摂
editor in chief	猪鹿倉　陽子
assistant edtior	高橋　遼
editor	木村　絵里
	清本　周平
	高橋　とよみ
	殿塚　建吾
	原　彩子
designer	高橋　遼
adviser	伊藤　吉幸
	加藤　千博
	吉田　広子